

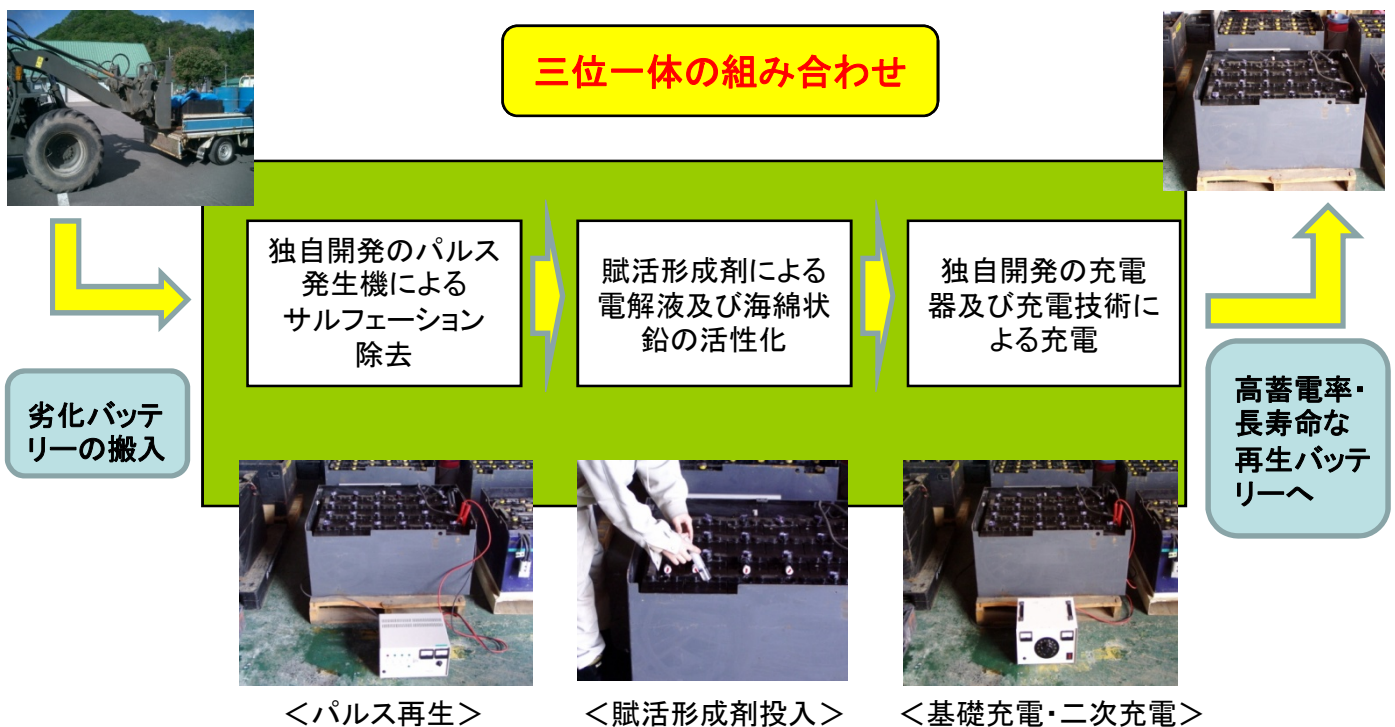
コア企業：(株)フェニックス（札幌市：その他の自動車整備業）

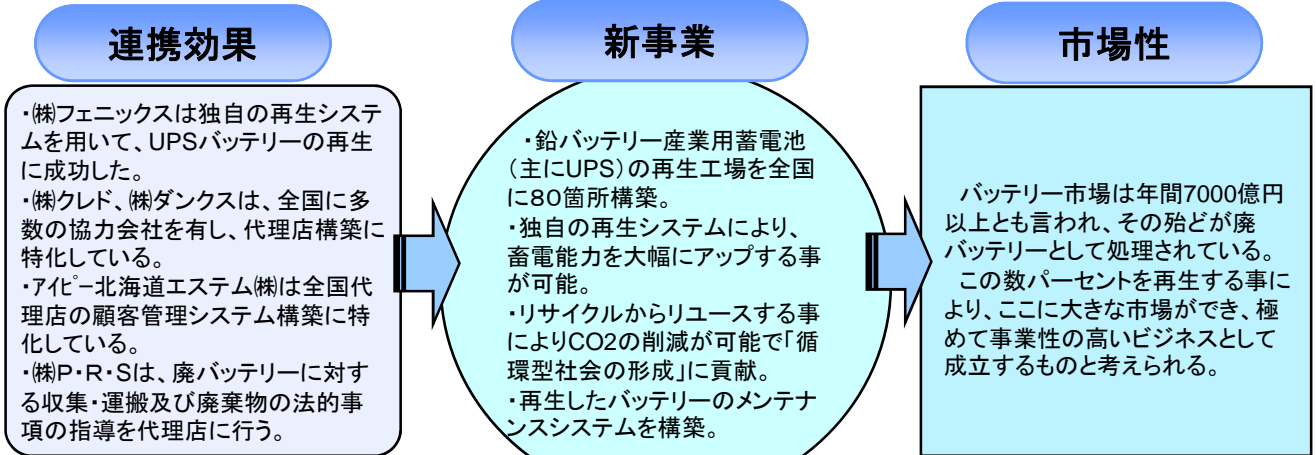
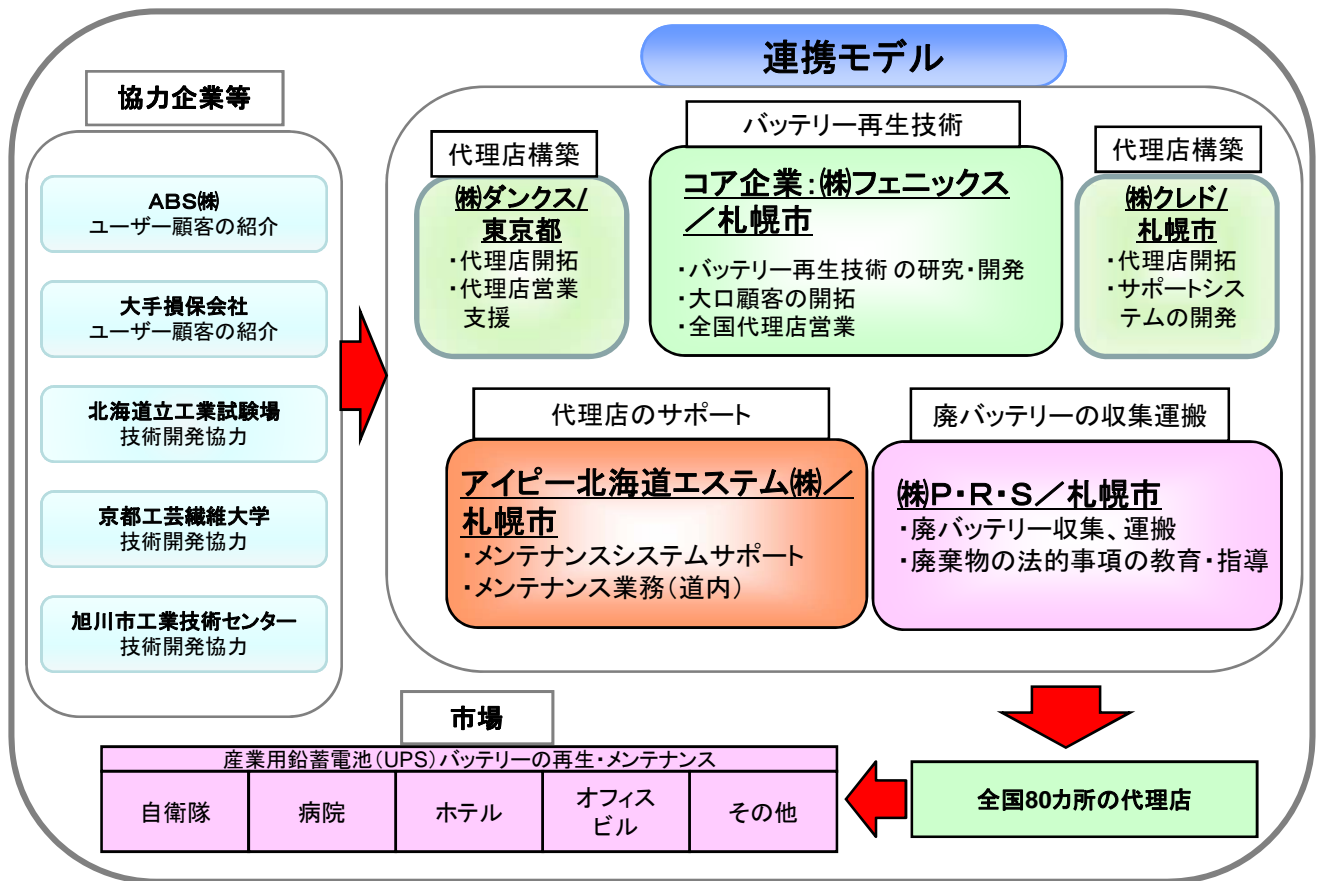
連携企業等：(株)クレド、(株)ダックス、アイピー北海道エステム(株)、(株)P・R・S

事業計画の概要：バッテリーメンテナンス事業の全国展開

1. 現在、国内のバッテリー需要は年間7,000億円以上とも言われ、そのほとんどが廃バッテリーとして処理されている。本事業は、この中の鉛バッテリーを数%でも再生処理することにより、バッテリー購入者の費用削減、企業としてCO2削減に寄与し、地球環境をも考えたビジネスである。
2. 同社のバッテリー再生事業は、全国に80箇所の代理店網を整備し、産業用蓄電池(UPS)をターゲットに、バッテリーの再生からメンテナンス、廃棄までの一連のシステムを構築する事業である。
3. 同社の再生技術は①パルス発生装置によるサルフェーション除去、②賦活形成剤による電極再生、③充電器による充電方法の3つの独自技術に支えられており、従来の技術よりもバッテリー再生にかかる時間を大幅に短縮、蓄電率を限りなく100%に近づけ、品質保証可能期間を最大5年間まで延長できる性能を有している。
4. 従来の新品バッテリー購入に比べ、約1/3の費用負担で新品同様に再生することが可能であり、既に官庁、大手製紙会社等に再生・納品実績を持っている。25年間使用されたバッテリーも再生した実績があり、今後は、バッテリーを、消耗品からリユース可能な耐久消費財として市場展開していく。
5. コア企業である(株)フェニックスが、バッテリー再生技術の研究開発・全国代理店への機材・ノウハウの提供を行う。(株)クレドと(株)ダックスは、全国に80店の代理店網を構築する。アイピー北海道エステム(株)は、自社で持つ顧客管理システムのノウハウを活かし、代理店ネットワークのサポートを行う。(株)P・R・Sは、産業廃棄物となったバッテリーの収集運搬、代理店への廃棄物の法的事項の教育・指導を行い、5社の連携により事業を行っていく。

バッテリーの再生プロセス





支援メニュー

【支援金融機関】 北海道銀行、北洋銀行
【活用(予定)支援メニュー】 ①補助金、②信用保証の特例、③特許料の減免

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社フェニックス 代表取締役 伊藤 友一		
所在地	札幌市豊平区平岸3条9丁目10-1第一恵信ビル2階		
創立	平成17年7月		
資本金・従業員数	800万円	7名	
TEL/FAX	011-820-8808	011-820-8807	
e-mail	info@phoenix-eco.com		
URL	http://www.phoenix-eco.com/index.html		